

ソーラーライト3機種が JIL5510自主評定機器 (ソーラーライト)に認定

■ 認定マーク
安全と安心のマークです。

(一社)日本照明工業会
認定 JIL 5510
ソーラーライト

※バッテリーボックスの扉内側に貼付しています。



SL-10153H-C(GB)



SLK-17042N-B



SLK-19042N-D

屋外非常灯・ソーラーライト自主評定制度 (災害時の停電に備えるあかり)

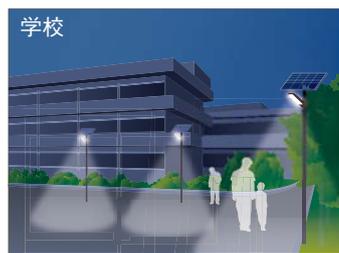
地震などの災害時に夜間停電になってしまったら、町全体が真っ暗で状況が確認できなくなります。避難場所への移動を助けるあかりや避難場所での救護活動を支援するあかりの備えが必要です。

(一社)日本照明工業会では、安全・安心に避難ができるよう、屋外用非常灯、ソーラーライトなどに基準(JIL5510)を制定し、その基準をクリアした機器には認定マークを表示する認定制度を実施しています。

ソーラーライト

避難場所となる公園などにソーラーライトを設置することにより、救護活動の支援をはじめ、避難者をサポートするあかりを確保できます。

● おすすめ設置場所と設置イメージ



災害時の避難場所や学校に。



※イメージです。

避難場所で活動するには、0.1lxの明るさが必要

避難場所の公園などに設置する非常用照明は、照明器具直下近傍で1lx以上、最も暗い場所でも0.1lx以上が望ましいと照明学会にて報告されています。(避難時における照明要件に関する評価実験H28年度)

避難場所で活動するには、12時間以上の有効点灯時間が必要

終夜を概ね12時間とし、冬季の日照時間を考慮して14時間以上が望ましいと考えて設定されています。

避難場所で活動するには、2~4日以上の不日照補償が必要

災害の緊急段階を概ね3日として設定されています。

評定区分

下表の区分で自主評定機器に認定されています。

形名		SL-10153H-C(GB)	SLK-17042N-B	SLK-19042N-D
光源	(A) 光源の種類	10W未満のもの	10W未満のもの	10W以上40W未満のもの
器具構造	(B) 保護構造(使用温度範囲)	一般屋外-5℃以上のもの	一般屋外-5℃以上のもの	一般屋外-5℃以上のもの
電池の種類	(C) 電池の種類	リチウムイオン蓄電池のもの	鉛蓄電池のもの	鉛蓄電池のもの
電池の分類	(D) 電源の分類	独立電源形のもの	独立電源形のもの	独立電源形のもの
機能	(E) 自動点検機能	ないもの	ないもの	ないもの
	(F) 有効点灯時間	14時間以上のもの	14時間以上のもの	14時間以上のもの
	(G) 不日照日数	4日以上のもの	4日以上のもの	4日以上のもの
型式評定番号		AS1-004	AS1-005	AS1-006